

# 学校関係者評価書

韮崎西中学校

## 1 実施

平成29年2月6日 16:00～

本校校長室

## 2 学校関係者評価委員

深澤 禮子	学校評議委員
水上 義仁	学校評議委員
中山 友江	学校評議委員
保坂 博文	学校評議委員
窪田 和江	学校評議委員
学校より	
篠原 俊明	校長
山本 一弘	教頭

## 3 学校関係者評価の内容

- 評価項目についてよくまとめられている。おおむね良いと思われるので、ぜひ改善の手だての実施に努めて欲しい。
- 学校組織運営に関わって改善の手立てに従ってぜひ取り組んで欲しい。
  - ・ 時間をかけずに連絡できる方法を考えて実施して欲しい。
- 学校経営 特別支援教育 にかかわって
  - ・ あげぼの交流はどのように実施されているかを知りたい。本校は生徒会経営委員会に福祉ボランティア委員会を設けて、この委員会に所属する生徒があげぼの支援学校へ訪問して交流している。
  - ・ 特別支援学級の入籍には保護者の理解が得られずトラブルとなることがある。ぜひ保護者の理解が得られるよう慎重な対応をお願いしたい。
- 学習指導にかかわって
  - ・ 学習塾の利用状況なども考慮した家庭学習の充実が必要なこともある。ぜひ対応を考えて欲しい。
  - ・ 学力向上のための外部指導者などを利用することも検討してみたらどうか。
- いじめ、不登校にかかわって
  - ・ 福島からの移住者に対するいじめなどが報道された。ぜひ、早期発見、早期対応に心がけて欲しい。
- 地域の教育資源を活用した教育について
  - ・ 本日の道徳の授業のように、地域人材を活用した授業をすすめて欲しい。計画する主任たちにぜひ助言をして欲しい。
- 地域としての活動への中学生の参加について
  - ・ 地域行事への参加状況はまずまずである。部活動への参加を優先する中学生の対応もわからないではないがぜひ協力お願いしたい。
  - ・ 防災に関わっては、中学生の力は地域にとって大きなものと期待している。地域の活動に参加できるよう取り組んで欲しい。
- 学校評議員として地区懇談会に参加している。しかしながら、地区懇談会への参加者が少ないのが気になる。参加者が増える取組を是非検討して欲しい。会の進行についても、評議員がいきなり指名され発言をもとめられるなどして大変である。

## 4 今後の対応

- おおむね自己評価への評価が得られたので、このまま自己評価結果を踏まえて実践に移す。その他、出された発言内容については、手立ての実践を進めながら検討していく。